

エルヴィス・プレスリーがロックンロールをレコード盤に収めてから70年。その間幾多の録音パッケージが時代とライフスタイルの変貌になぞられ大衆芸能における具体的な創造物として世に提供され、そのほとんどが変わっていく時代に忘れ去られていった。それにもかかわらず発表から半世紀経ちながらも時の風雪に耐え現代でも聞く者を魅了する作品が存在する。そのような現代でも鑑賞に値する古典＝クラシックがワーナーミュージック・グループに多数息づいている。Warner Records, Reprise, Atlantic, Elektra, Asylum, Rhinoなどのアメリカン・レーベルに加えParlophoneなどの欧州レーベルと、その優れた作品の広がりや深みは他の追従を許さない。

プレイリスト全盛の現代、曲単位でなくアルバムという一つの塊に触れることで制作者の意図、心意気を感じ、アーティストの成長や変遷をより実感できる。またジャケットに触れ、解説を読み、歌詞を知りより深くそのアルバムの価値や時代背景を学び楽しめることは貴重な素敵な音楽体験といえる。

今シリーズには80年、90年、00年代に発表され、今やネオクラシックとして誉れ高い作品や、リリース時には評価されずとも後にその真価が目され、“新たに発見された名盤”が多数ラインナップに加わる。

時空を超え多くを魅了する永遠のヤング・ミュージックの殿堂＝新しいフォーエヴァー・ヤング劇場、いざ開幕。

ラジオDJ 宮治淳一

### 8月作品予告<2024年8月7日発売タイトル>

#### ● イーグルス

- 『イーグルス・ファースト』(1972年作品) (WPCR-85022)
- 『ならず者』(1973年作品) (WPCR-85023)
- 『オン・ザ・ボーダー』(1974年作品) (WPCR-85024)
- 『呪われた夜』(1975年作品) (WPCR-85025)
- 『ホテル・カリフォルニア』(1976年作品) (WPCR-85026)
- 『ロング・ラン』(1979年作品) (WPCR-85027)
- 『イーグルス・ライヴ』(1980年作品) (WPCR-85028/9) \*2枚組作品

#### ● ドゥービー・ブラザーズ

- 『ドゥービー・ブラザーズ・ファースト』(1971年作品) (WPCR-85030)
- 『トゥールーズ・ストリート』(1972年作品) (WPCR-85031)
- 『キャプテン・アンド・ミー』(1973年作品) (WPCR-85032)
- 『ドゥービー天国』(1974年作品) (WPCR-85033)
- 『スタンピード』(1975年作品) (WPCR-85034)
- 『ドゥービー・ストリート』(1976年作品) (WPCR-85035)
- 『運命の掟』(1977年作品) (WPCR-85036)
- 『ミニット・バイ・ミニット』(1978年作品) (WPCR-85037)
- 『ワン・ステップ・クローサー』(1980年作品) (WPCR-85038)
- 『フェアウェル・トゥアー・ライヴ』(1983年作品) (WPCR-85039)

情報は  
こちらから



Warner Music  
LifeのSNSも  
チェック



#### ● リンダ・ロンシュタット

- 『ドント・クライ・ナウ』(1973年作品) (WPCR-85040)
- 『哀しみのプリズナー』(1975年作品) (WPCR-85041)
- 『風にさらわれた恋』(1976年作品) (WPCR-85042)
- 『夢はひとつだけ』(1977年作品) (WPCR-85043)
- 『ミス・アメリカ』(1978年作品) (WPCR-85044)
- 『激愛』(1980年作品) (WPCR-85045)
- 『ゲット・クローサー』(1982年作品) (WPCR-85046)

### 9月作品予告<2024年9月4日発売>

シリーズ第3弾に登場するのは2024年9月に  
来日が決定したシカゴの名盤の数々! 乞うご期待!

<来日情報>

Blue Note JAZZ FESTIVAL in JAPAN 2024  
ブルーノート・ジャズ・フェスティバル・イン・ジャパン 2024

[日程] 2024年9月21日(土)、22日(日)  
開場12:00 開演13:00 (両日ともに)

[会場] 有明アリーナ  
<https://bluenotejazzfestival.jp/>  
\*シカゴは2日目のヘッドライナーとして出演

大阪単独公演  
[日程] 2024年9月24日(火) 開場:18:00 開演:19:00  
[会場] グランキューブ大阪  
<https://udo.jp/osaka>

# FOREVER YOUNG

ワーナーミュージックが誇る洋楽名盤シリーズ  
「フォーエヴァー・ヤング」が装いも新たに再始動!  
時代を超えて輝き続ける名盤たちのCDが、  
2024年6月より長期にわたって続々リリース!

第1弾全18タイトル  
2024年6月26日 & 7月10日 発売

各¥1,980 (税込)

※2枚組CD作品のみ¥2,970 (税込)

解説・歌詞・対訳付



**クラフトワーク**  
『アウトバーン』  
KRAFTWERK/AUTOBAHN

クラフトワークの4作目にして初の世界進出作。心地よい反復シンセ音に溢れるタイトル曲が全米TOP40ヒットするなどテクノ、プログレの枠を超えた不朽の名作。<1974年作品 / 2009年デジタル・リマスター>

WPCR-85001 6月26日発売



**クラフトワーク**  
『放射能 (ラジオ・アクティビティ)』  
KRAFTWERK/RADIO-ACTIVITY

エレクトロニック・ポップの先駆者として世界中から注目を浴びたクラフトワークの5作目。放射能やラジオ電波を模したシンセの疑似音とはなく美しいメロディが交錯する耽美的な作品。<1975年作品 / 2009年デジタル・リマスター>

WPCR-85002 6月26日発売



**ニュー・オーダー**  
『ムーヴメント』  
NEW ORDER/MOVEMENT

イアン・カーティスを失ったジョイ・ディヴィジョンからニュー・オーダーへ。新たな歴史を記し始めた彼らの記念すべき一枚。<1981年作品・全英アルバムチャート第30位>

WPCR-85009 7月10日発売



**ニュー・オーダー**  
『権力の美学』  
NEW ORDER/POWER, CORRUPTION & LIES

真に生まれ変わったグループとしてのニュー・オーダーがここにある! 商業主義サウンドとは無縁なプロダクションながら、独自の美学が発揮された作品であり、原点である。<1983年作品・全英アルバムチャート第4位>

WPCR-85010 7月10日発売



**クラフトワーク**  
『ヨーロッパ特急 (トランス・ヨーロッパ・エクスプレス)』  
KRAFTWERK/TRANS EUROPE EXPRESS

硬質なシーケンサーと温かみのあるリズム・マシンが織りなす唯一無二のグルーブ感が光る6作目。ヨーロッパ横断特急をテーマに、延々と続く列車の旅をシニカルに描いた大ヒット作。<1977年作品 / 2009年デジタル・リマスター>


WPCR-85003 6月26日発売



**クラフトワーク**  
『人間解体 (ザ・マン・マシン)』  
KRAFTWERK/THE MAN MACHINE

クラフトワークのテクノ・ポップ・スタイルを決定付けた7作目。ロボットと人間の融合をテーマにしたクラフトワーク流の近未来型SF作品であり、テクノ、ロックの両面から最高峰と評された作品。<1978年作品 / 2009年デジタル・リマスター>

WPCR-85004 6月26日発売



**ニュー・オーダー**  
『ロウ・ライフ』  
NEW ORDER/LOW-LIFE

ヒット・ポップ・シングル「コンフュージョン」で見せた新展開が凝縮されたターニング・ポイント的重要作品。サウンド・プロダクションもより完璧を期すようになり、彼らの大きな成長が見られる。<1985年作品・全英アルバム・チャート7位>

WPCR-85011 7月10日発売



**ニュー・オーダー**  
『ブラザーフッド』  
NEW ORDER/BROTHERHOOD

前作「ロウ・ライフ」で見せたサウンド展開をより発展させた作品。デジタル・ビートのみでなく、生演奏なども織り交ぜ、次の大きな飛躍へのステップが見られる。ヒット・チューン「ビザール・ラヴ・トライアングル」収録。<1986年作品・全英アルバムチャート第9位>

WPCR-85012 7月10日発売



**クラフトワーク**  
『コンピューター・ワールド』  
KRAFTWERK/COMPUTER WORLD

来たるべきコンピューター社会を暗示したコンセプト・アルバム。機械と人間の友好ではなく、機械に依存していく人類への危機感をトランス・ビートに託した、現代人の必聴作。<1981年作品 / 2009年デジタル・リマスター>

WPCR-85005 6月26日発売



**クラフトワーク**  
『テクノ・ポップ』  
KRAFTWERK/TECHNO POP

自らが「テクノ・ポップ」という言葉を用い、時代の最先端にいることを主張した9作目。サンプリング、ミニマル、ループなど、現代テクノ・ミュージックの原点が凝縮された傑作。<1986年作品 / 2009年デジタル・リマスター>

WPCR-85006 6月26日発売



**ニュー・オーダー**  
『テクニク』  
NEW ORDER/TECHNIQUE

初期の頃のエネルギー溢れるバンド・サウンドの復活、ハウス・ビートの導入、そして所々に聞かれるアコースティック・サウンドなど完成されたニュー・オーダー・サウンドに大きな展開が見られる。当時イギリス中を席巻したマンチェスター・ブームの中、真の実力を見つけた。<1989年作品・全英アルバムチャートNo.1>

WPCR-85013 7月10日発売



**ニュー・オーダー**  
『リパブリック』  
NEW ORDER/REPUBLIC

各メンバーのソロ活動が活発になりグループとしての活動が長く休止した後、前作から4年振りに復活作として完成されたオリジナル・アルバム前作で取り入れられたハウス・サウンドは影を潜め、ヒット・チャートで十分通用するポップ・センスを前面に出した、まさに王者の貴録が漂うヒット・アルバム。<1993年作品・全英アルバムチャートNo.1>

WPCR-85014 7月10日発売



**クラフトワーク**  
『THE MIX』  
KRAFTWERK/THE MIX

ハウス・ミュージック人気真只中に登場したクラフトワークのリミックス集。代表曲を音の断片に解体し、テクノ・ビートに乗せて新たに再構築したダンス感覚溢れる佳作。<1991年作品 / 2009年デジタル・リマスター>

WPCR-85007 6月26日発売



**クラフトワーク**  
『ツール・ド・フランス』  
KRAFTWERK/TOUR DE FRANCE

ツール・ド・フランス100周年を記念して作られた11作目。テクノロジーの進化の恩恵を受け、クラフトワーク流アンビエント・ミュージックを聴かせてくれる。<2003年作品 / 2009年デジタル・リマスター>

WPCR-85008 6月26日発売



**ニュー・オーダー**  
『ゲット・レディー』  
NEW ORDER/GET READY

2001年に、8年振りに発表されたオリジナル・アルバム。ピリー・コーガン(元スマッシング・パンクィンズ)、プライマル・スクリームがゲスト参加。プロデューサーはスティーヴ・オズボーン(U2, Happy Mondays, Placebo等)。<2001年作品・全英アルバム・チャート7位>

WPCR-85015 7月10日発売



**ニュー・オーダー**  
『ウェイティング・フォー・ザ・サイレンズ・コール』  
NEW ORDER/WAITING FOR THE SIRENS' CALL

通算8枚目となるアルバム。プロデューサーにはスティーヴン・ストリート(ザ・スマス、ブラー他)、ジョン・レッキー(ストーン・ローゼズ、ピンク・フロイド他)、スチュワート・プライスなどが参加。<2005年作品・全英アルバム・チャート5位>


WPCR-85016 7月10日発売

**クラフトワーク**

CHOCOLATE PRESENTS  
**FUJI ROCK FESTIVAL '24**

**7/27(土)出演決定!**

<https://fujirockfestival.com/>



**ジョイ・ディヴィジョン**  
『アンノウン・プレジャーズ』  
JOY DIVISION/UNKNOWN PLEASURES

マンチェスターから始まった英国ロックの新しい歴史。カリスマ、イアン・カーティスのボーカルと、タイトで耽美的なサウンドは既にオリジナリティを完成させており、まさにポスト・パンク時代を象徴するものであった。時代を越えて語り継がれる記念碑的アルバム。<1979年作品>

WPCR-85017 7月10日発売



**ジョイ・ディヴィジョン**  
『クローサー』  
JOY DIVISION/CLOSER

「ラヴ・ウィル・ティア・アス・アパート」のヒットで一躍脚光を浴びた直後、イアン・カーティスを衝撃的な自殺で失ってしまったジョイ・ディヴィジョン。イアンの生前に完成されていたと言われるセカンド・アルバムにしてラスト・オリジナル・アルバム。そのジャケットの美しさに勝る、完成された美学が聴く者の心を捕らえて放さない歴史的名作。<1980年作品>

WPCR-85018 7月10日発売